



朝、お布団から出るのに気合が必要な季節になりました。あったかいスープで目を覚まし、少しずつ一日を始める準備をしています。いつも手軽なインスタントのカップスープで済ませてしまうのですが、『作りおきスープの素』(596タ)という本を見てみたら、美味しそうでもとても手軽に作れそうなレシピが満載で、このスープを楽しむに気持ちのいい朝をむかえられそうな気がします。ほかにも『野菜たっぷり スープの本』(596ヤ)には、本格的なポタージュの作り方や、具たくさんのごちそうスープのレシピがいっぱいです。 司書

冬休みの特別貸出！

冬休み前の特別貸出期間となりました。

返却期限は **1月12日(水)まで 20冊** 貸出しできます。

この冬のおうち時間は、読書をしてすごしませんか。



📖 教育実習生からのおすすめ本 📖

いつも爽やかな風を振りまいていたお二人の教育実習の先生方からのおすすめ本です。どちらもY校図書館にあります。この本を読んだら、お二人の清々しい風の源を感じることができるかもしれません。

★S先生からのおすすめ本★

○赤羽雄二『ゼロ秒思考 頭がよくなる世界一シンプルなトレーニング』(141ア)

この本と出合って、「メモをとる」ということの重要性を知りました。メモをとることで考える力が鍛えられ、頭の中を整理することができ、書きながら自分の思考が明確になっていくことがわかってきます。スポーツをやっていると、悩んだり苦しんだりする日も多くあります。でも悩んでいたら前に進めない！今、目標がない人、何かをやる目的が見えずにいる人にも、そんな人こそ読んでもらいたいです。「書き出して、整理する」ことで、目的が見えてくるかもしれません。自分のやることさえわかれば、あとは**前に進むだけ！**



★M先生からのおすすめ本★

○アンジェラ・ダックワース

『やりぬく力 GRID 人生のあらゆる成功を決める「究極の能力」を身につける』(159ダ)

いまのY校生にもってこいの本です！何かに悩んでいる子たちのチカラになるような、前向きな気持ちになれる本です。悩んで後ろに行くよりも、しっかり考えて前に進もう！と思わせてくれる方法が詳しく解説されています。きっと「希望」が背中を押してくれます。今の自分に火をつけるために！やり抜く力を得るために！

「明日やろう」より「明日またやろう」



📖 おすすめ！文庫本 📖



小学生の頃に夢中になって読んだ生徒も多い「ハリー・ポッター」シリーズが文庫本となっています。手軽な文庫本は、通学の電車内で読むにもピッタリです。「ハリー・ポッター」だけでなく、かつて読んだことがある本も、手を出すのに躊躇していたあの名作も、文庫本で読んでみませんか。

○辻村深月『かがみの孤城』上・下 (B913.6 ツ)

学校に行けなくなった中学生の「こころ」の部屋の鏡がある日突然光り出し、その鏡の中には同じような境遇を持つ子たちが集められたお城があつて……。 「この本を読んで読書が楽しいって思った！」という声を何度も聞く、本が苦手な方にもおすすめしたい一冊です。

○佐藤多佳子『一瞬の風になれ』全三部 (B913.6 サ)

陸上競技にかける高校生を描いた青春スポーツ小説です。シンプルだと思っていた陸上競技の奥深さが伝わってきて、ひたむきに陸上に打ち込む主人公たちに胸が熱くなります。県内の高校をモデルとしているので、行ったことがある地名やグラウンド、「～じゃん」と話す会話にも、身近な想いを抱くかもしれません。

○吉田修一『国宝』上・下 (B913.6 ヨ)

歌舞伎という、高校生にはあまりなじみのない世界の話ですが、読み終えた後にはきっと大きな充実感を味わえると思います。作者はこの作品の取材のために、長期間自ら歌舞伎の世界の裏方に入って日本全国をまわったそうです。歌舞伎の世界観が色濃く描かれ、その世界で生きる人たちの息遣いまでが聞こえてくるような重厚な作品です。

○パウロ・コエーリョ『アルケミスト』 (B969 コ)

本のサイズは文庫版ですが、ハードカバーの美しい装丁が施された本です。ブラジルの作家が書いた、大切なものはすぐ近くにあることを教えてくれるこの小説は、世界で最も読まれた本ベスト5に入っています。

○星野源『働く男』 (B772 ホ)

みなさんご存知、星野源が書いた、エッセイ、小説、歌詞、映画やドラマの裏話などが盛り沢山の、ファンでなくても楽しめる一冊です。文庫版の良さのひとつに、単行本にはなかったあとがきや解説が入っていることがあります。この本にも単行本にはないピース又吉直樹との対談が載っていて、お得感がいっぱいです。

○阿津川辰海『紅蓮館の殺人』『蒼海館の殺人』 (B913.6 ア)

ミステリーが大好きなY校生におすすめしたいのがこの本です。どちらもかなりのボリュームがあるのですが、その分読みごたえもたっぷりです。『蒼海館の殺人』は「このミステリーがすごい！2021年度版 2位」「週刊文春ミステリーベスト10 2位」「ミステリーが読みたい2021年 3位」「2021本格ミステリ・ベスト10」など数々のランキングで上位をさらいました。

★ハリー・ポッターと魔法の歴史展★

文庫版も、ソフトカバー版も、懐かしいハードカバー版も相変わらず大人気のファンタジー小説「ハリー・ポッター」の世界にフィーチャーした大規模な展覧会が、12/18～3/27に、東京ステーションギャラリーで開催されます。16世紀に描かれた「賢者の石」の作り方の巻物や、スプラウト先生の植物「マンドレイク」が描かれた14世紀の書物、原作者J.K.ローリングの直筆原稿やスケッチ、『イラスト版ハリー・ポッターと賢者の石』の表紙を飾ったジム・ケイの美しい原画など、興味深い資料が多数展示されているそうです。



詳しいことはこちらから ➡ [ハリー・ポッターと魔法の歴史展](#) 🔍

📖 数学が好きになるかもしれない本 📖

○佐藤雅彦、大島遼、廣瀬隼也『解きたくなる数学』(410 サ)

幼児教育番組「ピタゴラスイッチ」を制作しているメンバーがつくった「数学」の本です。といっても中学生レベルの知識で解ける問題ばかり。本当に「解きたくなる」魅力的な写真に彩られた良問が並んでいます。

「小さなホワイトチョコのプレートが適当に置かれた四角いチョコレートケーキを、プレートもケーキもちょうど半分になるように切り分けるには？」とか、「東京に住む1400万人の人の中で、髪の毛の本数がまったく同じ人が少なくとも一組いることを証明しなさい」といった23問の問題を解くうちに、論理的に考えて答えを導き出せるちからが身につくかもしれません。

○横山明日希『愛×数学×短歌』(911 ヨ)

「愛」と「数学」と「短歌」という縁遠い分野同士を掛け合わせたら、見たことのない世界が広がる本になりました。数学同好会の高2の男子と、転校生の文芸部女子による甘酸っぱいストーリーにのせ、キュンとする短歌と、本格的な(ちょっとオタクな?)数学の解説が、すてきな世界を作っています。

「解が出ず 落ち込み歩く帰り道 $\sqrt{(\text{route})}$ の先に i (愛) を見つけた」

2次方程式の解の公式は、 $x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$ で表される。通常は $\sqrt{\quad}$ の中がマイナスの場合は虚数解まで

認めたとき、たとえば、 $x = \frac{-1 \pm \sqrt{3}i}{2a}$ のように、解はルートの隣に虚数 i を用いて表すことができる。

○はなお&でんがんと仲間たち『その悩み、僕らなら数学で解決できます』(410 ハ)

「いつも必ず5分遅刻してしまう」とか、「恋人が欲しいんです」とか、「暗い性格を直したい。」とか……。そんな悩みを解決する方法を、まさか数学で? えっ? と思ってページをめくると、なんだか本当にうまくいきそうな気がしてくるから不思議です。例えば「大学に行く意味がわかりません」という質問には、微分や指数関数、ベクトルを使い、「人前でうまく話せません」という悩みには多変数関数を使うなど、数学的な根拠とともに解決策を示しているの、とても説得力があります。



📖 今月のおすすめ本 📖

○鼠入昌史『相鉄はなぜかっこよくなったのか あの手この手の企画力』(686 ソ)

言われてみれば近頃の相鉄線はおしゃれな紺色の車体をしていて、都心にも乗り入れが進んでいるらしいし、ひと昔前の地味な印象(失礼)はないかも、と思っているのは私だけではないはず。この本は、そんな相鉄線の魅力がたっぷり語られています。丁寧に取材した様子がわかる駅ごとの解説や、百年以上前の開業からの歴史、沿線開発の経緯や、創立100年プロジェクトのあれこれなどが、モーターや制御方式の技術に関する話なども織り交ぜながら、紹介されています。相鉄ユーザーでなくても、鉄道好きでなくても、マーケティングを学ぶY校生ならきっと読んで損はない一冊です。

～図書委員会からのお知らせ～

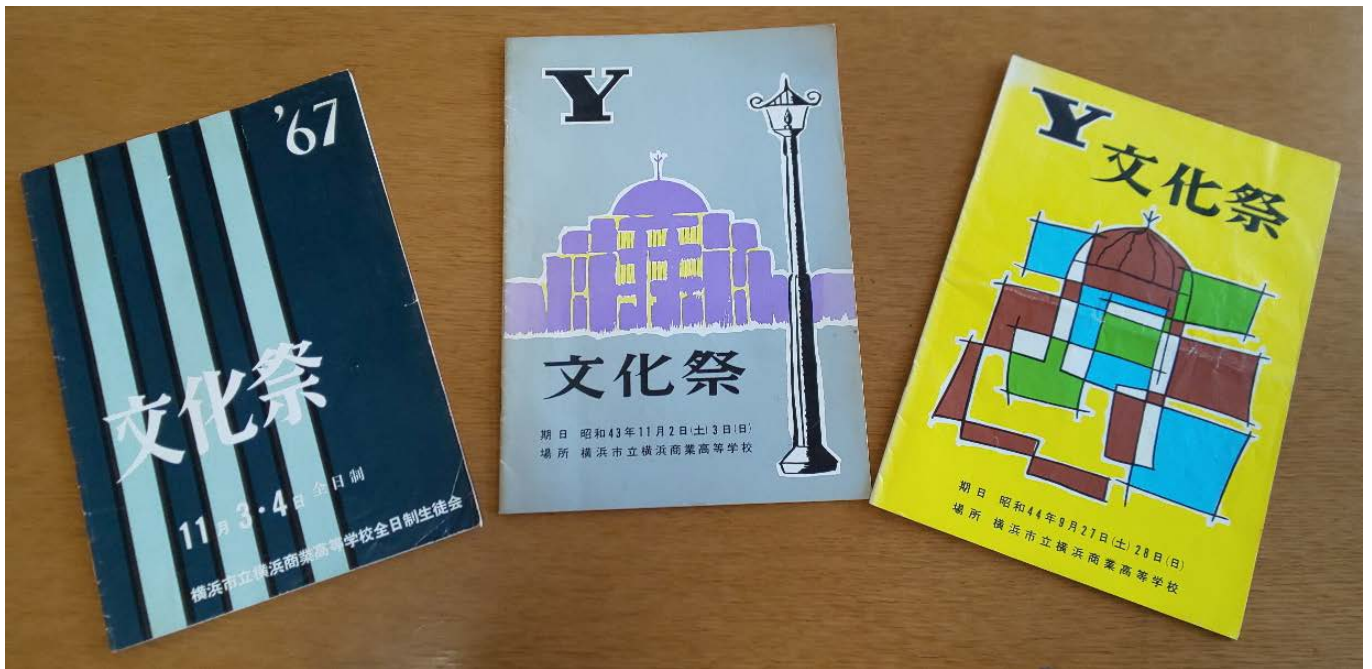
図書委員で一人ずつおすすめの本を紹介しました。気になる本があった方は、

ぜひ図書室まで足をはこんでみてください!!

👤 図書委員長 👤

Y校アーカイブ vol. 6 「昭和のY校祭」

楽しかったY校祭の余韻がまだ少し残っています。いつも以上に生き生きとしたY校生の姿がとても印象的でした。図書館にある、50年以上前の文化祭のパフレットを見てみると、産業映画の上映を行っていたり、いくつかの部活が招待試合を行っていたり、個人で日本舞踊を披露していたり。かつてのY校生が文化祭に向けていた情熱が、少し色あせた紙面から伝わってきます。今はない部活動の名前もたくさん見られます。ハンドボール部、フェンシング部、速記部、弦楽部……。産業調査部やエスペラント部、JRCはどんな活動をしていたのでしょうか。高校なのにビールの広告がたくさんあるところにも、時代を感じました。1969年に開催されたY校祭のキャッチフレーズは「若さと伝統」。50年以上前から、すでに「伝統」を背負っていたことに、歴史の重みを感じます。



3日(金)					4日(土)				
展示会場	講演会	体育館	見心館	校庭	展示会場	講演会	体育館	見心館	校庭
10:00	開会の辞 30 「芸術部」 若原知朗	00 男子バスケット 招待試合 「南高校対Y校」	30 フェンシング (男) 招待試合 「O・B対Y校」	30 硬式野球 招待試合 「南高校対Y校」	9:00	あいさつ 00 「3年5組」 ベースの偉人			
11:00	00 「阿久津君之」 ギター独奏 30 「バンドクワター」 コーラス	00 女子バスケット 招待試合 「南高校対Y校」		弓道 招待試合 (弓道場) 「平沼高校対Y校」	10:00	産業映画 35 「ゼ・フェーズ」 マクメイル・ヤング より取説			
12:00	昼休み			軟式テニス 招待試合 (テニスコート) 「O・B対Y校」	11:00	16 「ゼ・ア・ムズ」 勢・誠のゴクベン			
1:00	30 「演劇部」 歌舞の玉が紅色に 光る時	00 男子バレーボール 招待試合 「桜ヶ丘高校 対Y校」	00 フェンシング (女) 招待試合 「O・B対Y校」	ハンドボール 招待試合 「磯子工業高校 対Y校」 12:00	12:00	16 丹 久 木			
2:00	17				1:00	30 「3年2組」 珍・父対母			
3:00	35 「弦楽部」	30 女子バレーボール 招待試合 「富士見台高校 対Y校」			2:00	20 「小説界」 読愛する歌 45 「1年5組」 おふくろ			
4:00	30 「合唱部」				3:00	30 「ゼ・クォーリダ ン」 Young Music			
5:00	30 「合唱部」				閉会の辞				
	あいさつ								30 夜 夜 祭 フォーダンス 合 唱